※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	第２学年	教科書『APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSISON Ⅱ』(開隆堂出版) 副教材『Vision Quest 総合英語 3rd Edition』(啓林館) 『New English Grammar 24』(啓林館) 『Reading Flash Stage 2』(桐原書店)

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理・表現Ⅱの授業は、英語を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり、発表）」、「書くこと」ができるようになるための力をつける授業です。特に文法（＝英文の作り方のルール）を意識して、適切な英語で表現し、相手によりわかりやすく伝えることを目標に、授業での言語活動に積極的に参加しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ ゆっくりはっきりとした発話なら、日常的な事柄や外国の文化・風習に関わるなじみのない事柄でもその概要を理解することができる。	・制限時間内で英文全体の要旨を理解することができる。 ・英文を精読することで、全体の要旨だけでなく、複雑で理解しにくいところもきちんと理解することができる。	・身近な事柄についての簡単な質問に対し、簡単な文を使用して自然な応答をすることが出来る。 ・他者の発表を聞いて、内容について簡単に質問することができる。	・身近な話題について前もって準備をしたメモを見ながら、理由や具体例などを添えて、短く説明することができる。	・身近な話題に関する説明や自分の意見を既習の表現やつなぎの言葉やフレーズを活用して、書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・使用される文法の基本形を理解し，それぞれの持つ概念のイメージを適切に把握している。	・身につけた文法知識・技能を活用し，身近な出来事や，自分の考えなどを整理して，対話している相手に伝わるように，表現することができる。	・伝えたいことが相手に伝わるように，積極的に対話を続けようとすることができる。 ・必要な語彙・表現について、自ら調べ、習得しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson1 “現在と過去を表す表現” Lesson2 “未来を表す表現” Step Up “Paragraph Writing 1”	聞くこと	a: 人物紹介の英語を正確に聞き取ることができる。 b: 人物紹介の英語を聞き、大意を把握している。 c: 人物紹介の英語を聞き、大意を把握しようとしている。	小テスト
		読むこと	a: 基本時制の文や用法を理解している。 b: 基本時制の文や用法を理解し、それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握している。 c: 基本時制の文や用法を理解し、それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握しようとしている。	定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 基本時制の文や用法を理解し、自分や友だちの興味・関心、自分の将来の計画などを紹介する技能を身に着けている。 b: 自分や友だちの興味・関心、自分の将来の計画などについて、聞き手にわかりやすく伝えている。 c: 自分や友だちの興味・関心、自分の将来の計画などについて、聞き手に積極的に伝えようとしている。。	ペアワーク活動
		書くこと	a: パラグラフの構成を理解している。 b: パラグラフの構成を意識しながら、ディスコースマーカーなどを活用し、自分の意見を適切にまとめている。 c: パラグラフの構成を意識しながら、ディスコースマーカーなどを活用し、自分の意見を適切にまとめようとしている。	提出課題
	中間考査			
	Lesson3 “助動詞” Scene 1 電話をしよう Lesson4 “完了形” Lesson5 “受動態”	聞くこと	a: 経験したことについて話している会話を正確に聞き取ることができる。 b: 経験したことについて話している会話を聞き、大意を把握している。 c: 経験したことについて話している会話を聞き、大意を把握しようとしている。	小テスト
		読むこと	a: 助動詞・完了形・受動態を使った文を理解している。 b: 助動詞・完了形・受動態を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握している。 c: 助動詞・完了形・受動態を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握しようとしている。	定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 電話をするときに使ういろいろな表現を理解し、多様な状況で会話する技能を身に着けている。 b: 電話をするときの多様な状況を想定しながら、自分の希望や意志を相手にわかりやすく伝えている。 c: 電話をするときの多様な状況を想定しながら、自分の希望や意志を相手に積極的に伝えようとしている。	ペアワーク活動 インタビューテスト
		書くこと	a: 助動詞・完了形・受動態を理解し，それぞれを使い分けて文を書く技能を身につけている。 b: 助動詞・完了形・受動態を理解し，それぞれを使い分けて文を書くことができる。 c: 助動詞・完了形・受動態を理解し，それぞれの時制を使い分けて文を書こうとしている。	定期考査 提出課題
	期末考査			
2学期	Lesson6 “比較①（比較級，最上級）”	聞くこと	a: 比較・動名詞・不定詞を使用した会話を正確に聞き取ることができる。 b: 比較・動名詞・不定詞を使用した会話を聞き、大意を把握している。 c: 比較・動名詞・不定詞を使用した会話を聞き、大意を把握しようとしている。	小テスト

※令和４年度以降入学生用

2学期	Lesson7 “比較②（同等比較，倍数比較）” Step up “Debate 1 “ Lesson8 “動名詞”	読むこと	a: 比較・動名詞・不定詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握する技能を身に着けている。 b: 比較・動名詞・不定詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握している。 c: 比較・動名詞・不定詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握しようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: ディベートの方法を理解し、多様なテーマについてディベートを行う技能を身につけている。 b: ディベートの手順を考えながら、自分たちの考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 c: ディベートの手順を考えながら、自分たちの考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	ディベート
		書くこと	a: 比較・動名詞・不定詞を理解し，それらを用いて文を書く技能を身につけている。 b: 比較・動名詞・不定詞を理解し，それらを用いて文を書くことができる。 c: 比較・動名詞・不定詞を理解し，それらを用いて文を書こうとしている。	定期考査 提出課題
	中間考査			
	Lesson9 “to 不定詞（名詞的用法、形容詞的用法，副詞的用法）” Step Up “Paragraph Writing 2” Lesson10 “分詞（現在分詞、過去分詞）” Lesson11 “関係詞①（関係代名詞）”	聞くこと	a: 不定詞・分詞・関係詞を使用した説明を正確に聞き取ることができる。 b: 不定詞・分詞・関係詞を使用した説明を聞き、大意を把握している。 c: 不定詞・分詞・関係詞を使用した説明を聞き、大意を把握しようとしている。	小テスト
		読むこと	a: 不定詞・分詞・関係詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握する技能を身に着けている。 b: 不定詞・分詞・関係詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握している。 c: 不定詞・分詞・関係詞を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握しようとしている。	定期考査
		話すこと （やりとり）	a: 不定詞・分詞・関係詞を理解し，それらを用いて話す技能を身につけている。 b: 不定詞・分詞・関係詞を理解し，それらを用いて対話ができる。 c: 不定詞・分詞・関係詞を理解し，それらを用いて対話しようとしている。	ペアワーク活動 インタビューテスト
		書くこと	a: 複数のパラグラフに分けて意見や考えをまとめながら英文を書く方法を理解している。 b: 全体の構成を考えながら自分の考えを複数のパラグラフにまとめ、適切な英文を書いている。 c: 全体の構成を考えながら自分の考えを複数のパラグラフにまとめ、適切な英文を書こうとしている。	提出課題
	期末考査			
3学期	Lesson12 “関係詞②（関係副詞）” Lesson13 “仮定法” Lesson14 “特殊構文”	聞くこと	a: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使用した説明を正確に聞き取ることができる。 b: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使用した説明を聞き、大意を把握している。 c: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使用した説明を聞き、大意を把握しようとしている。	小テスト
		読むこと	a: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握する技能を身に着けている。 b: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握している。	定期考査

※令和４年度以降入学生用

			c: 関係詞・仮定法・無生物主語や強調構文を使った文を理解し，それぞれが持つ概念のイメージを適切に把握しようとしている。	
		話すこと （発表）	a:データを使ってプレゼンテーションをする方法を理解している。 b: 具体的なデータを使ってプレゼンテーション原稿を作成し、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 c: 具体的なデータを使ってプレゼンテーション原稿を作成し、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 関係詞・仮定法・接続詞を理解し，それらを用いて文を書く技能を身につけている。 b: 関係詞・仮定法・接続詞を理解し，それらを用いて文を書くことができる。 c: 関係詞・仮定法・接続詞を理解し，それらを用いて文を書こうとしている。	定期考査 提出課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度